

地理歴史科（地理総合）学習指導案

- 1 履修単位数 2 単位
- 2 実施日時 令和5年（2023）年11月 日（ ）
- 3 学級 ホームルーム（ ）名
- 4 使用教科書 『わたしたちの地理総合 世界から日本へ』（二宮書店）
- 5 単元名 「産業の発展と生活文化」
- 6 単元設定の理由

〈生徒観〉 クラスの特徴として、グループ学習などにおいて積極的に発言がみられるやや活発な生徒たちである。一方で理由を推測し、文章で答える課題を各単元で行ってきたが、論理的に答えることは苦手な生徒が多い。既習内容の知識を活用し、言葉で説明できる力を育てていきたい。

〈教材観〉 この単元では農業地域・工業地域が成立する上での自然条件や、社会条件について考察し、人々の生活との関連性を学習する。気候区分や地形などの既習事項である自然条件を踏まえつつ、経済や歴史などの社会条件からも農業地域や工業地域がなぜそこに成立したのかを考察し、多面的・多角的な見方・考え方を身に付けさせたい。

〈指導観〉 産業地域の分布図や統計資料から、産業の成立背景や産業構造の変化を読み取る技能および思考力や判断力を身に付けさせたい。またデータとして把握するだけでなく、私たちの身の回りの生活が、アジア諸国からの輸入品に支えられていることに気付かせ、国際分業や地域共同体の役割についても生徒たちの実生活と結び付けたい。

7 単元の目標

- ・人々の生活文化が、地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。（知識）
- ・世界の産業が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件と関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現する。（思考・表現）
- ・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究する態度を養う。（態度）

単元の基軸となる問い

世界の産業はどのように変化し、人々の生活文化にどのような影響を与えているだろうか。

8 単元の評価規準

知識・技能（知）	思考・判断・表現（思）	主体的に学習に取り組む態度（態）
・人々の生活文化が、地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解できている。	・世界の産業が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件と関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現できている。	・生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

9 指導と評価の計画

単元名 第2節「産業の発展と生活文化」 全5時間

第一次 農業の地域性・・・【○思、●態】(本時1/1)

第二次 農業と生活文化・・・【●知、●思】

第三次 工業の地域性・・・【●知、●思】

第四次 経済成長・工業化による生活の変化・・・【○知、○態】

単元の指導計画 (○・・・「評定に用いる評価」、●・・・「学習改善につなげる評価」)

曜	学習活動	知	思	態	評価基準等
第一次 (1時間) ※本時	【単元の基軸となる問い】世界の産業はどのように変化し、人々の生活文化にどのような影響を与えているだろうか				
	【第一次の問い】 ホイットルサーはどうやって農業地域を区分したのだろうか				
	<ul style="list-style-type: none"> 写真資料を読み取り、どの農業地域かを考察する。 農業地域区分図を読み取り、自然条件や社会条件を考察する。 		○		(評価資料)：ワークシート、発表 ○資料をもとに農業地域の自然条件と社会条件を推測し、説明できている。 ●主体的にグループの仲間と意見を出し合いながら、協働して根拠を導き出している。
第二次 (1時間)	【第二次の問い】 南アジアの農業はどのように行われるか				
	<ul style="list-style-type: none"> 地域による食文化の違いが生まれる理由を、複数の自然的条件から考察する。 インドの発展を歴史的、政治的背景から考察する。 	●	●		(評価資料)：ワークシート、発表 ●既習事項の降水量、風、地形などと関連させて説明できる。 ●写真やグラフなどの資料から経済活動の発展を読み取ることができる。
第三次 (1時間)	【第三次の問い】 工業の発展は地域をどのように変えたか				
	<ul style="list-style-type: none"> 各産業革命の特徴を確認し、社会にどのような変化をもたらしたかを考察する。 時代による工業の変化や工業地域の変化を調べる。 	●	●		(評価資料)：ワークシート、発表 ●技術革新がもたらした人間生活の変化や、先進国と途上国の格差に気付くことができる。 ●主題図等のデータを読み取り、工業の中心地の変遷を時系列で整理できる。
第四次	【第四次の問い①】 中国は「世界の工場」から「世界の市場」どのように変化したか				
	<ul style="list-style-type: none"> 身近な生活の中で中国製品を見付け、近年の人々の生活の変化における中国の関わりについて調べる。 			○	(評価資料)：ワークシート、発表、小テスト ○生活の中での中国との関わりについて具体例をあげ、意欲的に調べている。

(2時間)	【第四次の問い②】 東南アジアの工業化はどのように進んでいるか			
	<ul style="list-style-type: none"> 中国や東南アジア諸国において、経済政策が与えた国内産業の進展と、大量生産や大規模な市場が世界に与えた影響についてまとめる。 	○		<ul style="list-style-type: none"> ○次々と打ち出した中国・東南アジアの経済政策や経済共同体について、用語の内容も含めて理解できている。

10 本時の指導目標

- ・主題図や写真、グラフなどの資料や立地などから各農業地域の成立条件を推測し、根拠を含めて発表することができる。【思考・判断・表現（思）】
- ・仲間と意見を出し合いながら農業地域の成立条件について推測し、地域別の農業の特徴について、自ら調べようとしている。【主体的に学習に取り組む態度（態）】

11 本時の展開

時間	学習活動	指導上の留意点	評価規準	評価方法
導入 10分	【本時の問い】 「ホイットルサーはどうやって農業地域を区分したのだろうか」			
	<ul style="list-style-type: none"> ホイットルサーの農業地域区分図を確認する。 「粗放的」、「集約的」、「企業的」、「自給的」、「商業的」とはどういうことかを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートに語句の意味を整理させる。 		
展開 30分	<p>MetaMoJi Classroom</p> <ul style="list-style-type: none"> 3枚の写真を確認し、どの地域の農業かを考察する。 写真の農業地域を例に、自然条件、社会条件についてまとめる。 13の農業地域のそれぞれの性質が「粗放的」、「集約的」、「企業的」、「自給的」、「商業的」のどこに位置するのかMetaMoJi Classroomの付せんを動かして推察する。 	<ul style="list-style-type: none"> MetaMoJi Classroomの使い方をつまづきがないか確認する。 写真のどこに着目したかを説明させる。 ワークシートにできるだけ多く自然条件、社会条件の例を書かせる。 ケッペンの気候区分図や世界の人口密度の図を確認させ、農業地域の分布との関係を読み取らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 資料をもとに農業地域の自然条件と社会条件を推測し、説明できている。(思) 主体的にグループの仲間と意見を出し合いながら、協働して根拠を導き出している。(態) 	<ul style="list-style-type: none"> MetaMoJi Classroom 配付シート、ワークシート、発表 MetaMoJi Classroom 配付シート、ワークシート、発表
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> ワークシートで振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時のねらいに対する自身のまとめと自己評価を行う。 		<ul style="list-style-type: none"> 振り返りの内容

12 評価の目安と目標実現のための手立て

【思考・判断・表現】

A	十分満足できる	既習事項と基に、自然条件・社会条件と関連付けて具体的に考察できている。
B	おおむね満足できる	資料をもとに農業地域の自然条件と社会条件を推測し、説明できている。
C	Bを満たさない生徒への具体的な手立て	写真等資料における注目すべき点を確認させ、考察を促す。

【主体的に学習に取り組む態度】

A	十分満足できる	後日提出の農業地域区分のまとめに、自身で調べた自然条件や社会条件を付け加えられている。
B	おおむね満足できる	主体的にグループの仲間と意見を出し合いながら、協働して根拠を導き出している。
C	Bを満たさない生徒への具体的な手立て	机間指導で発言を促したり、グループの生徒と協力しあって役割を果たしたり、発言を引き出す。